

2025年日本国際博覧会 パビリオン・施設の紹介 (No.2)

シグネチャーパビリオン

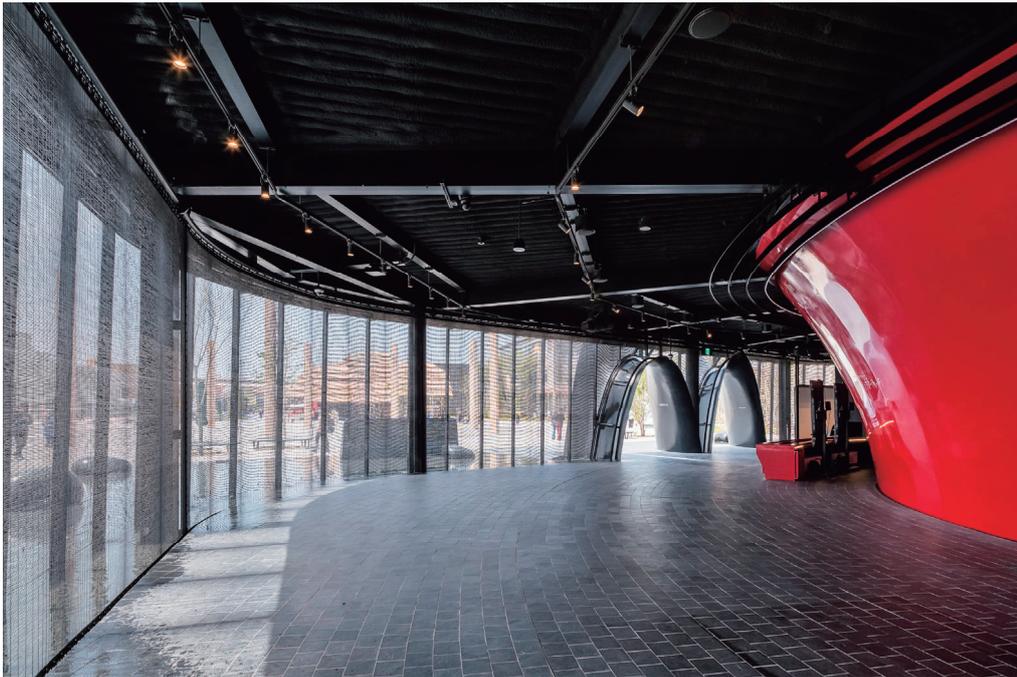
# FUTURE OF LIFE いのちの未来 (石黒館)

【設計】株式会社 石本建築事務所



撮影：大沢誠一 写真協力：2025年日本国際博覧会協会

## 2025年日本国際博覧会 パビリオン・施設の紹介 (No.2)



## 待列スペース：

3次曲面で構成された赤い鋼板耐震壁によるダイナミックな空間。鋼板耐震壁に地震力を負担させることで、ロングスパンで自由な展示空間を計画。



エントランスゲート：落ちてくる水を受け止め、水の向こう側へ人を導く。



カーボンファイバーメッシュ膜

## 【パビリオンの概要】

テーマ：「いのちを拡げる」

生きたい「いのち」を自ら設計することが、人類の未来ではないだろうか？ ロボット工学者の石黒浩はそんな問いを、みやくみやくと水がわき出すパビリオン建築で表現する。水がわき出し、真黒なポリ塩化ビニールとカーボンファイバーメッシュ膜の二重構成としたカテナリー形状の外壁を伝って流れる。メッシュ膜に砕けた白い水泡が豊かな表情をつくりだす。生物の多様性を表象する「渚」のような建築を考案した。

石黒にとって、水は無機物であるアンドロイドと有機物である人間をつなぐもの。待ち列空間は人、機械、水の流れ、光、風、音がまざりあう渚、「いのち」を体感できる空間でもある。

## 【設計概要】

所在地：大阪府大阪市此花区夢洲  
 主な用途：展示場  
 敷地面積：1635.69m<sup>2</sup>  
 建築面積：1142.03m<sup>2</sup> 延床面積：2014.33m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造2階建